

実践事例 8 「知的興味や関心を育成する総合的な学習の時間の実践」

愛知県立加茂丘高等学校 全日制普通科（9クラス）

所在地 愛知県西加茂郡藤岡町大字飯野字太田代1137番30

電話番号 0565 - 76 - 2241

1 学校の概要

昭和47年4月に開校し、平成13年に創立30周年を迎えた全日制課程普通科の学校で、各学年3クラスの小規模校である。本校は豊田市の北部に隣接する藤岡町に位置し、山と緑に囲まれた静かで恵まれた教育環境にある。生徒の大部分は地元中学校の出身者であり、本校に寄せる地域の期待も大きい。

開校当初の昭和49年度から国際教育交換協議会の海外高等学校姉妹校交流プログラム（SPA）に参加し、現在まで米国オレゴン州ベンド市にある三つの高等学校と姉妹校提携し、交流を重ねている。

近年入学してくる生徒の学力差は大きく、学習指導においては基礎・基本を重視し、習熟度・類型別学級編成の授業を実施するなど、分かる授業を大切にしている。卒業生の進路状況は、大学・短大・専門学校への進学者と就職者がおよそ半々である。

2 指導目標（ねらい）

学ぶことに興味や関心を示さない生徒、興味や関心はあるが学び方が分からない生徒に、体験的な学習活動を通して学習意欲を起こさせ、知的なものへの関心を高め、いかに高校生活を充実させるかが本校の課題である。

そこで本校の総合的な学習の時間のねらいを、「自ら課題を見付け、問題の解決に主体的に取り組む態度を育てる」とし、この観点から、総合的な学習の時間及び教科・科目の指導に取り組んでいる。

3 「総合的な学習の時間」の名称

「総合学習（進路，国際理解，環境・健康・福祉）」

4 教育課程上の位置付け

各学年とも土曜日3・4限を総合的な学習の時間として、1単位時間を設定し（第2，第4土曜日を除く）学年同時展開で実施している。

5 学習活動の概要

(1) 活動内容

「自ら課題を見付け、問題の解決に主体的に取り組む態度を育てる」ことを念頭におき、課題の発見や興味・関心への動機付け等、知的欲求の喚起を目的として総合的な学習の取組を行っている。

「国際理解」に関することを設定し、主に「世界の中の日本と自分」を中心として、本校の国際交流活動、アジア諸国理解等の学習活動を通して世界とのかかわりを考えさせる。

「進路」に関することを設定し、主に「進路学習活動」を中心として、自己理解、学部・学科、職種・職業研究等の学習活動を通して自己実現を考えさせる。

「環境・健康・福祉」に関することを設定し、主に「生命と健康」を中心として、自然環境、体力づくり、救急措置等の学習活動を通して健康な生活について社会と自分とのかかわりを考えさせる。

(2) 活動形態

ホームルームごと1グループ20人程度のグループ編成を原則とする。1グループに教員が1人付き、学年団の教員が担当する。また活動内容により、学級でのチーム・ティーチング、スタディールーム方式、学年一斉指導の展開も行う。

(3) 第1学年年間指導計画

月	学習テーマ	指導内容	留意事項
4	進路	自己理解 高校生活と進路	自己発見ゲーム，適性検査の利用 中学時代との比較
5		進路意識調査 職種・職業調査	調査プリント 資料を基に情報の提供
6		進学ガイダンス 就職・職種ガイダンス	職種・職業調査を踏まえて
7	国際理解 (資料1)	本校の国際交流活動の歴史と実績	スライドにより国際交流の現状を示す SPA参加者の体験報告
	環境・自然	緑が環境に与える影響 身の回りの緑化	資料を基に情報の提供 緑化の実際を体験
9	国際理解 (6 具体的な活動例参照)	近隣諸国を知る 日本と台湾の位置	白地図よって確認作業 ビデオでの学習
		台湾の文化・芸能・言語・歴史・地理	クイズで確認
		台湾について興味のあるテーマを研究	資料の活用方法 インターネットの利用
10	福祉・健康	救急措置の基礎 心肺蘇生法実習	緊急時における救急法の実際
11		森林破壊の現状と森林の働き	ビデオでの学習とプリントでの確認
		健康とスポーツ 軽スポーツのいろいろ	健康な身体づくり だれでもできるスポーツ
12	環境・健康	環境問題について考える 日常生活と汚染	農薬の実態 新聞記事を利用
1		健康に関するクイズ 機能食品・食品添加物	食品と健康の関係
2		健康に関するクイズ 自己健康診断	健康について関心を高める 生活習慣病の予防
	国際理解 (資料2)	オイスカの活動 「子供の森」計画	オイスカからの研修生や現地を体験した本校職員からの報告
3	進路	進路希望別ガイダンス(1) 進路希望別ガイダンス(2)	自分の将来を考える
	総合学習のまとめ	各学習テーマについて学んだ事項の確認と発表	課題の確認と次年度への発展

(4) 第2学年年間指導計画

月	学習テーマ	指導内容	留意事項
4	環境・自然	四国の文化・歴史 四国の海・川	資料を基に情報の提供
5		四国の自然・産業 四国の郷土料理	資料を基に情報の提供
6	国際理解	本校の国際交流活動の歴史と実績	スライドにより国際交流の現状を示す SPA参加者の体験報告
7	進路	高校生活と進路 職種・職業調査	自己発見ゲーム, 適性検査の利用 資料を基に情報の提供
	環境・自然	緑が環境に与える影響 身の回りの緑化	資料を基に情報の提供 緑化の実際を体験
9	進路	進学ガイダンス 職業・職種ガイダンス	職種・職業調査を踏まえて
	環境・健康	健康に関するクイズ 健康食品・食品添加物	食品と健康の関係
	福祉・健康	健康に関するクイズ 自己健康診断	健康について関心を高める 生活習慣病の予防
10	環境・健康	森林破壊の現状と森林の働き	ビデオとプリントによる学習の確認
11	福祉・健康	救急措置の基礎 心肺蘇生法実習	緊急時における救急法の実際
	環境・健康	環境問題について考える 日常生活と汚染	農薬の実態 新聞記事を利用
12	福祉・健康	健康とスポーツ 軽スポーツのいろいろ	健康な身体づくり だれでもできるスポーツ
1	国際理解	アジア研究	現在の中国事情を今使われている言語を通して知る
2		オイスカの活動 「子供の森」計画	オイスカからの研修生や現地を体験した本校職員からの報告
		大量消費からの決別	ビデオ「地球白書」を見て 21世紀の世界を考える
3	進路	進路希望別ガイダンス(1) 進路希望別ガイダンス(2)	自分の将来を考える
	総合学習のまとめ	各学習テーマについて学んだ事項の確認と発表	課題の確認と次年度への発展

(5) 第3学年年間指導計画

月	学習テーマ	指導内容	留意事項
4	進路	進路ガイダンス 進路希望先調査	3年生としての心構え 具体的な進路先
5		学部・学科・職種研究(1) 学部・学科・職種研究(2)	何を学びどんな仕事をするかを明確化 資料を基に情報の提供
6		進学ガイダンス 事業所研究	職種・職業調査を踏まえて
7	環境・自然	緑が環境に与える影響 身の回りの緑化	資料を基に情報の提供 緑化の実際を体験
9	福祉・健康	環境問題について考える 日常生活と汚染	農薬の実態 新聞記事を利用
		健康に関するクイズ 自己健康診断	健康について関心を高める 生活習慣病の予防
10	国際理解	本校の国際交流活動の歴史と実績	スライドにより国際交流の現状を示す SPA参加者の体験報告
	福祉・健康	大量消費との決別	ビデオ「地球白書」を見て 21世紀の世界を考える
		アジア研究	世界の音楽家たちがエイズ撲滅に結束した様子を知る
12	国際理解	オイスカの活動 「子供の森計画」	オイスカからの研修生や現地を体験した本校職員からの報告
1	環境・健康	健康とスポーツ 軽スポーツのいろいろ	健康な身体づくり だれでもできるスポーツ
2	総合学習のまとめ	各学習テーマについて学んだ事項の確認と発表	課題解決に向かう姿勢ができたか

6 具体的な活動例 第1学年「国際理解 近隣諸国を知る - 台湾 - 」

(1) ねらい

本校職員の台湾における交流体験を生徒に知らせ、国際交流を身近に感じさせるとともに、日本の近隣諸国に興味・関心をもたせる。また、自分の興味・関心に基づいて研究する経験をさせる。

(2) ティーム・ティーチングと指導計画案

学年全体で指導に当たるなかで、『本校の人材を生かす「これならできる」一覧(資料3)』に掲げた「本校の人材」を生かしていくことができるよう、ティーム・ティーチングを取り入れている。

下の指導案中のT1は「本校の人材」、T2は学年の教員を示している。

	指導内容	活動内容
1 ・ 2 時 間 目	<p>T1：台湾グッズの提示により、台湾への興味・関心をもたせる。</p> <p>T2：アジアの中の日本の位置や台湾との距離に気付かせる。</p> <p>T1，T2で台湾クイズを出し、台湾について親近感をもたせる。</p> <p>台湾の雑誌を読む。 まとめのプリント学習 評価表(資料4)への記入</p>	<p>形態：TT 場所：HR教室</p> <p>台湾グッズを提示し、実際に手にして台湾の雰囲気を感じる。</p> <p>世界地図で確認した後、白地図に日本の領土と台湾を色塗りする。日本の領土と台湾の最短距離を地図上で測る。また、名古屋からの距離も測る。</p> <p>「クイズ」形式で行う。○×の札を配布しておく。</p> <p>雑誌，新聞，ポスタ - などを漢和辞典を使いながら読んだり，答えさせたりする。確認テストを行う。</p>
3 ・ 4 時 間 目	<p>ビデオ鑑賞を通して中国語に興味をもたせる。</p> <p>筆談での会話を試し，意思があれば，言語が異なってもコミュニケーションが可能であることを実感させる。</p> <p>グループ対抗でクイズ大会を行う。</p> <p>台湾について，5，6時間目の発展学習につながるいくつかの話題を提供する。 評価表(資料4)への記入</p>	<p>形態：TT 場所：視聴覚教室</p> <p>ビデオ「ちびまるこちゃん」(中国語版)</p> <p>場面を設定し，黒板でT1とT2との筆談をしてみせる。生徒同士互いに筆談を行う。ボディランゲージも活用する。</p> <p>グループをつくり，得意だと思ふクイズの分野を選び，グループ対抗で得点を競う。答えを紙に書き一斉に見せ合う。</p> <p>興味をもった話題に基づいて，5，6時間目の発展学習で取り組むテーマを決める。(発展学習への取組が億劫にならないように，気軽に話題を提供するようにする)</p>
5 ・ 6 時 間 目	<p>台湾について興味あるテーマを選び，研究する。 評価表(資料4)への記入</p>	<p>形態：班学習 場所：HR教室，情報処理室</p> <p>「台湾を旅する班」：日本から3泊4日での旅程表を資料を参考にして立案する。それぞれのポイント(費用，みどころ等)を発表する。</p> <p>「台湾の食文化を知る班」：インタ - ネットを使って情報を収集し特色をまとめて発表する。</p>

(3) 6時間の「国際理解学習」を終えての評価

ア 生徒のアンケートから

【国際交流に関心をもてたか】たいへん 5 まあまあ 22 次回頑張る 3

ほとんどの生徒に関心をもつことができた。

【もっといろいろな国を知りたいと思ったか】たいへん 8 まあまあ 19 次回頑張る 3

諸外国，諸地域に関心を抱いている。

【アメリカとの交換留学に参加したいか】たいへん 4 まあまあ 13 次回頑張る 13

語学への不安，自信のなさやテロ事件の影響をあげている。

【台湾についてもっと知りたいと思うか】たいへん 8 まあまあ 19 次回頑張る 3

台湾理解の授業を受けることによって興味・関心が高まった。

イ 教師側から見た成果

交換留学を希望する生徒が英会話練習を始めた。

教室で台湾やアメリカのことが話題になるようになった。

漢和辞典，英和辞典を使うようになった。

コンピュータに興味をもち，パソコン部へ入部した生徒がいる。

生徒提案により教室に世界地図を掲示して，行ってみたい国を選びグループごとに調べることになった。

新聞を教室に置いたところ，世界のニュースに関心を示すようになった。

クイズ大会の様子

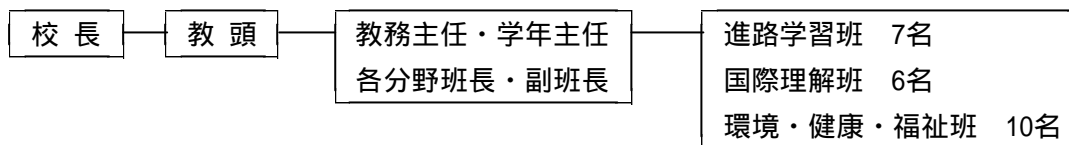


コンピュータで台湾料理を検索



7 指導組織

総合学習委員会（校長，教頭，教務主任，学年主任，各分野班長・副班長）



全教員で指導に当たり，各学習班は教員の希望によって決める。

教務主任・学年主任は各分野からの教材・資料への助言や整理と活動場所の連絡調整を行う。

各分野の班長は活動内容を工夫し，教材・資料を作成し，授業担当者に提供する。

コンピュータ指導は別に責任者を決める。

8 実施に向けての留意事項

(1) 本校の特色を生かす

27年間の国際交流活動の歴史と実績を生かす。（延人数 渡米生徒232名 来日生徒87名）

本校の教員の「人材」（多彩な経験・特技）を生かす。

（本校の人材を生かす「これならできる」一覧（資料3）参照）

地域の豊かな自然環境を生かす。

(2) 教材等

教材の開発，資料の収集は各分野班で行い，生徒が興味・関心をもつように工夫し授業担当者に提供する。

プリント，ビデオ，実物資料等の提示により具体的に示す。

(3) 教員研修

全職員による共通理解のため，職員会議・教科会を利用し，「ねらい」等十分な説明を行う。

教員のもてる力が発揮できるように配慮する。（分野班は希望職員で編成）

(4) 保護者，生徒への説明

ア 保護者への説明

新入生の保護者には入学式前の説明会において実施する。全体への説明は，PTA総会において実施し，さらに7月の個別懇談会の場でも説明する。

イ 生徒への説明

4月当初にクラスごとに「総合的な学習の時間」について意義・目的等を説明する。

(5) 地域との連携

校内活動の場合は学校の現状を説明し，「総合的な学習の時間」について理解を得た上で，講師を依頼する。

校外での活動の場合についても，受け入れ先にねらいや目的について理解をしてもらうことが大切である。

(6) 予算

年度当初に必要なと思われる予算を計上し，徴収する。

9 評価

(1) 毎時間ごとの「評価表」による評価（「評価表」(資料4)参照)

自分が取り組んだこと、できたこと、興味・関心がわいたり、意欲をもてるようになったことを、毎時間生徒自身が確認できるよう、自己評価項目を細かく設定した「評価表」により評価を行う。また、「生徒諸君から」「先生から」のコメント欄をあらかじめ設けておくことにより、生徒と教員のコミュニケーションが円滑になるようにする。

(2) 「総合学習ノート」の記録による評価

「総合学習ノート」の記録に基づき、「授業への参加態度はどうか」「積極的に問題意識をもつことができたか」「課題を設定することができたか」「問題を解決する方法を考えたか」「課題や問題解決のために行動できたか」を評価の観点として文章によって評価する。

10 成果と課題

(1) 成果

総合的な学習を実践した成果として以下のことが挙げられる。

生徒は、今までの教科指導にとらわれない新しい学習体験をすることにより、知的な興味や関心が高まった。

教員は、各分野班において学年、教科等の枠を越えて教材開発を行い、授業の展開を検討することにより、新たな協力体制が確立した。

(2) 課題

今後の課題としては、以下のような点が挙げられる。

生徒が設定した課題に対する職員のサポート体制の確立

全学年同時展開が可能となるような施設設備の充実

魅力ある教材開発と教授方法の工夫

職員間の一層の共通理解

(資料1) 国際理解 「本校の国際交流活動の歴史と実績」

(1) ねらい

本校の国際交流活動の歴史と実績を紹介し、他国の文化や人々の生活様式、ものの見方・考え方を知ることにより国際感覚を身に付けた生徒の育成に努める。また、姉妹校交流活動に興味・関心をもたせ、渡米プログラムに参加したいという気持ちを喚起する。

(2) 活動内容

ア 本校の渡米プログラムについての紹介

本校において毎年行っている渡米プログラムについて、前年度の活動の様子を現地で撮影したスライドやビデオで紹介したり、現地の物品を提示したりして、外国での生活について関心をもたせる。

イ 活動形態 全クラス(3クラス)合同 視聴覚教室使用

第1時間目

このプログラムについてプリントなどを用いて説明する。
(交流の歴史、姉妹校の概要、オレゴン州ベンド市概要)
前年度の本校での活動の様子をスライドで紹介する。
(渡米プログラム参加生徒による説明及び質疑応答)
このプログラムについて理解度をクイズ形式でチェックする。
(理解度判定プリント使用)

第2時間目

渡米生徒の姉妹校での交流活動の様子を記録ビデオで紹介する。
(渡米プログラム参加生徒による説明及び質疑応答)
ベンド市の姉妹校から本校へ来ている留学生に姉妹校に関することを質問する。
(渡米プログラム参加生徒による司会によって質問カードの提出による質疑応答、またその場での質問。英語、日本語どちらでもよい。通訳も生徒に行わせる)
感想をまとめる。
(交流の歴史が分かったか、渡米プログラムに興味をもてたか、を考えてまとめる)

(参考 交換留学指導計画)

米国オレゴン州ベンド市の高校(ベンド高校、ラパイン高校、マウンテン・ビュー高校)と姉妹提携して、交換交流を行っている。渡米は3月中に約4週間、来日は6月~7月にかけて約1か月である。渡米、来日の生徒は、相手校へ通学し、ホームステイで家庭生活の実体験をする。

【プログラムの年間計画】

5月中旬~下旬 渡米希望生徒募集
6月初旬~中旬 選考試験ガイダンス, 選考試験(筆記・面接)
6月末~7月末 ラパイン高校生来日
7月初旬 派遣生徒第1回保護者会, 英会話レッスン開始
12月中旬 パスポート申請
1月中旬 派遣生徒第2回保護者会
3月初旬 渡米
3月下旬 帰国

(資料2) 国際理解 「オイスカの活動に学ぶ」

(1) ねらい

オイスカ(財団法人産業精神文化推進機構)との交流活動を紹介し、オイスカの活動に興味・関心をもたせる。東南アジアの自然や産業を理解するとともに異文化理解の一助とする。

(2) 活動内容

ア フィリピンでの植林プログラムについて

オイスカがフィリピンで行っている「子供の森」計画などの様々な活動を紹介し、世界的な規模での問題にオイスカが、どのように対処していこうとしているかを理解させる。そして、生徒たちが、自分として何ができるかを考えさせる。

オイスカ研修所の研修生による「子供の森」計画についての講話

「子供の森」計画に参加した本校教員による現地紹介

解説プリント、スライド、それぞれの話の中に出てくる事柄について、クイズ形式の学習
チェック

イ 活動時間 2時間連続で実施する。

第1時間目 全クラス(3クラス)合同 視聴覚教室使用

オイスカ活動協力委員からオイスカの活動や、アジア地域の現状についての講話を聞く。
オイスカの活動に参加した本校教員が、現地で撮影したスライドを見せながら、現地の様子を紹介する。

オイスカの研修生から現地について、また現在抱えている様々な問題について話を聞く。

第2時間目 HR教室で実施

オイスカの活動や「子供の森」計画について、クイズにより基本的知識を確認する。
感想をまとめ、発表できるようにする。

(資料3) 本校の人材を生かす「これならできる」一覧

番号	開講可能な「これならできる」講座
1	ゴルフの歴史と理論と実践, 写真撮影(花鳥, 山野)
2	バドミントン指導(元国体出場選手), 社交ダンス, 読書の楽しみ
3	詩吟, 足つぼ研究
4	海外事情(台湾, 中国, 米国), トラベル英会話, 中国語会話, ハンドボール指導
5	武道研究(特に剣道の歴史, 理論から実践まで)
6	海外事情(地球一週7か月一人旅, 西アジア, 中近東に詳しい), 溪流釣り, バイク関係
7	イスラム文化・歴史(学芸員 イスラム遺跡発掘7ヶ月), 旧石器博士
8	図上世界旅行, かしこい子育て
9	ラーメン博士(おいしいといわれるラーメンを食べ尽くした)
10	硬式テニス, 卓球, 統計学全般(元総理府統計局局員), 臨床心理学
11	健康食品研究, 英会話, バイク(ツーリング日本一周), ハンドボール指導
12	ビリヤード研究, ボーリング研究, バイク(ツーリング日本一周)
13	物理学実験教材開発, 四国地方の歴史と風俗・風習
14	なんでも模型作り
15	自然界の「右手」と「左手」の研究, ビリヤード指導
16	ボーイスカウト活動指導者, 地域の卓球指導者, アウトドア研究
17	溪流釣り研究, 水泳指導員(スイミングスクール公認)
18	応急手当及び救急救命法, 高校硬式野球指導
19	海釣り研究, 硬式テニス指導
20	海外事情(東南アジア), オイスカ活動, 登山家, 弓道指導, ボランティア活動
21	健康食品研究, エアロビックス, 茶道, 海外事情(米国, 英国), 野菜作り
22	日本の温泉研究, 英会話
23	海外事情(インドネシア語・バリ島), 写真撮影, スキューバダイビング
24	海外事情(米国), ゴルフ指導, 茶道
25	健康料理研究, 茶華道, パッチワーク, パンと菓子作り
26	応急手当及び救急救命法
27	版画, 陶芸, 野菜作り, パソコン, アマチュア無線

(資料4)

評価表(1回目)

記号 ○:完璧 :まあまあ :次回頑張る

	○		
日本の領土が分かった	25	3	2
台湾を見つけた	24	3	3
距離を計算できた	10	15	5
台北へ行く方法を調べた	11	10	9
台湾グッズを試した	15	10	5
クイズに答えた	21	6	3
漢和辞典を活用できた	3	11	16
台湾の雑誌が読めた	8	13	9
今日の総合はおもしろかった	14	14	2
台湾に興味があった	12	14	4
<p><生徒諸君から></p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾のことがなんとなく分かった。 台湾の雑誌をもっと見たい。 漢字ばかりで読めなかった。 近いところに外国があった。 <p><先生から></p> <ul style="list-style-type: none"> 島をたどっていってみるとよい。 日本と台湾の共通点と相違点に注意する。 			

評価表(2回目)

記号 ○:完璧 :まあまあ :次回頑張る

	○		
ビデオを見た	29	1	0
場面設定のアイデアを出した	22	7	1
筆談に参加した	25	4	1
参加する友達にヒントを出した	20	9	1
筆談をおもしろく見た	20	10	0
ボディングはよいと思った	22	8	0
コミュニケーションはよいと思った	28	2	0
クイズ大会に答えた	25	5	0
クイズの答えのヒントを出した	21	9	0
T2の話聞いた	23	7	0
興味あることが見つかった	21	9	0
楽しく「総合」に取り組めた	26	4	0
<p><生徒諸君から></p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオやクイズが楽しかった。 景品のラーメンがもらえて嬉しかった。 クイズの答えが正答でよかった。 おもしろかった。 台湾のいろいろなことがわかった。 漢字をしっかりと勉強する。 <p><先生から></p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に参加する姿勢が大変よかった。 グループで協力して活動できた。 			

評価表(3回目:台湾を旅する班 17名)

記号 ○:完璧 :まあまあ :次回頑張る

	○		
時間までに教室に入った	16	1	0
調べたいことが見つかった	10	5	2
本などで調べた	14	2	1
先生に質問した	13	1	3
友達に相談した	13	4	0
友達と協力した	11	6	0
まとめができた	6	5	6
まとめられてよかった	7	5	5
調べる方法が分かった	12	4	1
まとめる方法が分かった	10	6	1
おもしろかった	16	1	0
もっと調べたいと思った	10	6	1
<p><生徒諸君から></p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行のプランづくりは難しい。 台湾へ行きたくなった。 台湾の魅力がなんとなく分かった。 おもしろかった。またやりたい。 <p><先生から></p> <ul style="list-style-type: none"> 6時間にわたる総合学習はどうでしたか。台湾とか外国旅行に興味をもってくれたらとてもうれしく思います。世界の動きに関心をもち視野を広げよう。世界の動きが私たちに及ぼす影響も考えてみよう。 			

評価表(3回目:台湾の食文化を知る班 10名)

記号 ○:完璧 :まあまあ :次回頑張る

	○		
時間までに教室に入った	10	0	0
調べたいことが見つかった	10	0	0
インターネットを使った	10	0	0
先生に質問した	7	2	1
友達に相談した	8	1	1
友達と協力した	9	0	1
まとめができた	10	0	0
まとめられてよかった	9	1	0
調べる方法が分かった	10	0	0
まとめる方法が分かった	8	2	0
おもしろかった	10	0	0
もっと調べたいと思った	8	2	0
<p><生徒諸君から></p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しかった。 台湾の人が何を食べているか分かった。 パソコンの操作が難しかった。 食べてみたいものがたくさんあった。 食材について調べてみたくなった。 <p><先生から></p> <ul style="list-style-type: none"> 6時間にわたる総合学習はどうでしたか。台湾をきっかけとして海外にも関心をもってくれたらとてもうれしく思います。テレビ、新聞、インターネット等を活用して視野を広げ、世界の動きに関心をもちましょう。 			